

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	キネティック・エナジー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：キネティック

フレアーの幅 インチ

表面加工

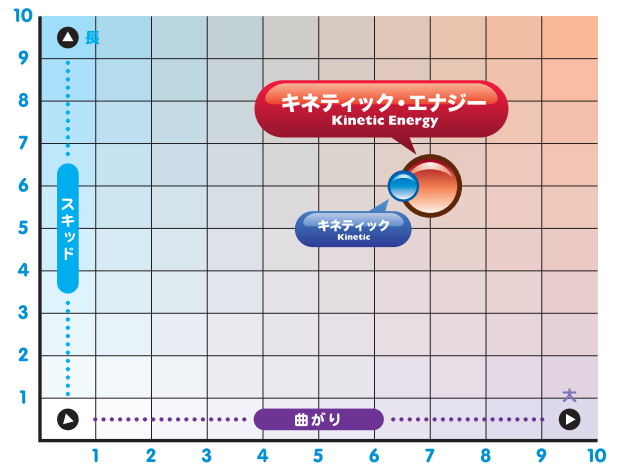
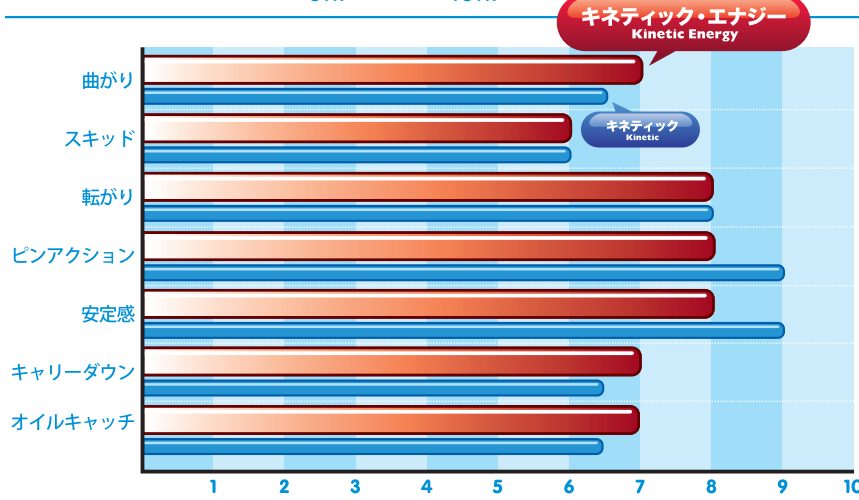
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

5 1/2 インチ

番

研磨剤



ボールの評価

全世界共通で発売された前作キネティックより半年、トラック社カタログボールキネティック・エナジーの発売です。キネティックそのままのコア形状を使用し、ポリッシュ加工でも粘りのあるカバーストックを搭載しています。投球したイメージは、転がり感の前作キネティック同様ですが、スキッドはやや短くなり、スキッドしながらロールに入ろうとする感じがします。ポリッシュ加工ながらキャッチ力を強化したカバーストックを搭載したことにより、前作キネティックとリアクションイメージも変わりました。キネティックでは切れるイメージがでて暴れる傾向があった過剰反応をこのキネティック・エナジーでは最小限に抑える為、**暴れる傾向の一つの要因であるバックエンドまでのエネルギー供給を転がりながら徐々に放出し、曲がり始めからピンヒットまでの扱い易さを求めて設計**された意図が伺えます。テスト段階で2000番でポリッシュされた箱出しの表面加工を1000番まで落とし投球致しましたが、私の場合は1000番の表面加工の方がより良くバランスが取れたイメージで投球でき、しっかりとピンヒットまで曲がってくるイメージがありました。もし投球してみてバックエンドの動きに物足りなさを感じた場合にはアブラロンパットで加工をしてみてください。きっと貴方だけの好みの表面加工で最高の武器になることでしょう。

特記事項

キネティックの後継版。カバーストックを前作よりも強化し、スキッド・フック・ロールに至るまで扱い易さを求めたスペック。表面加工を落とすことにより、よりメリハリのあるリアクションを感じられます。